

# 社会性の視座 ～FUTURE DESIGN 2040～

FUTURE DESIGN 2026  
基調講演  
2026年9月5日

住友化学相談役

十倉 雅和

## 本日のアジェンダ

1. 社会性の視座
2. FUTURE DESIGN 2040
3. 混迷の時代

# 本日のアジェンダ

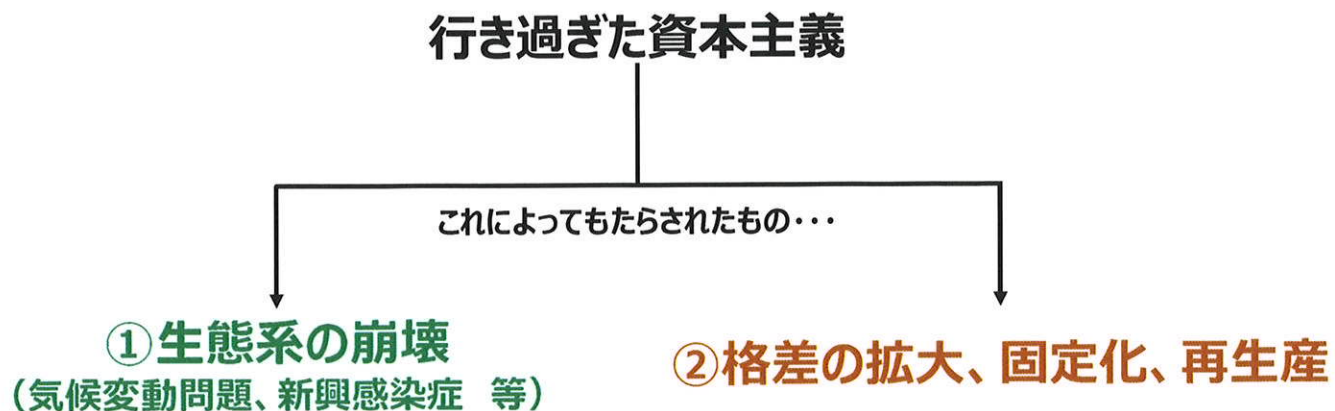
## 1. 社会性の視座

## 2. FUTURE DESIGN 2040

## 3. 混迷の時代

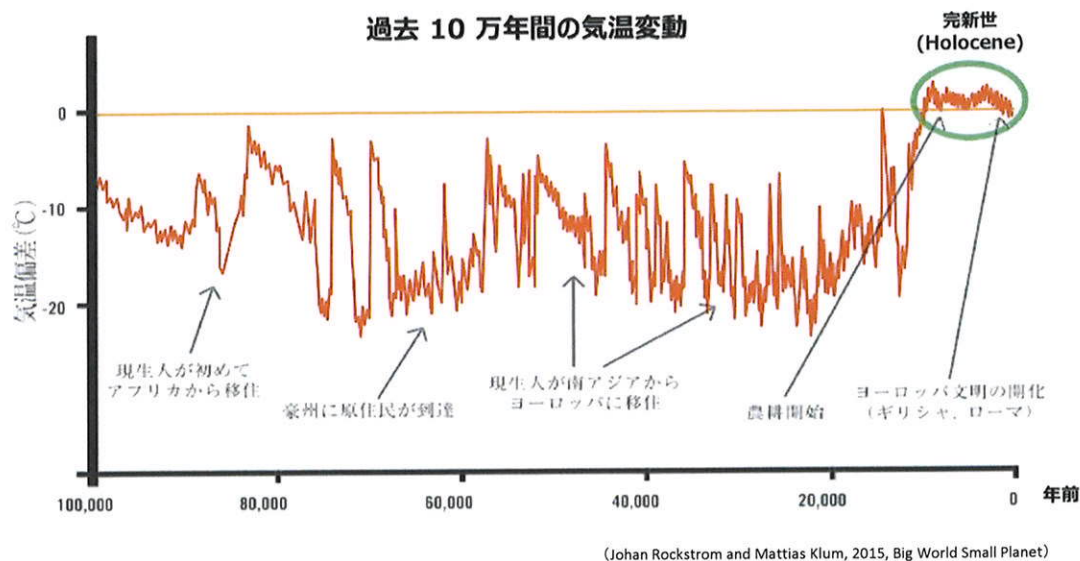
2

### 行き過ぎた資本主義によりもたらされた二つの弊害



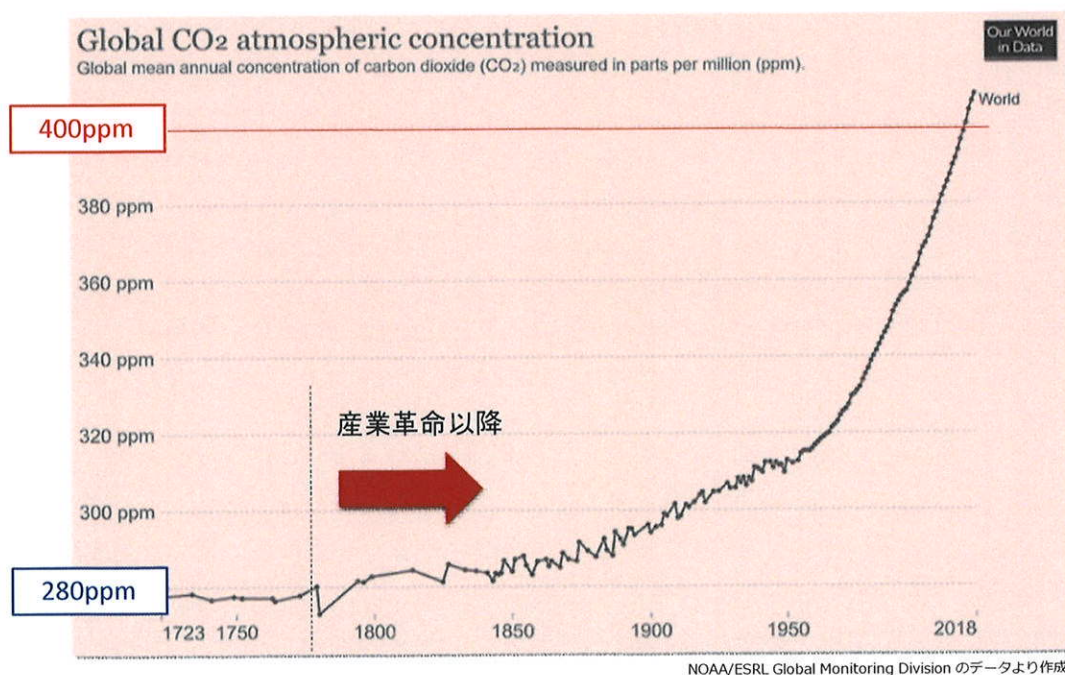
3

# 完新世 (Holocene) から人新世 (Anthropocene) へ



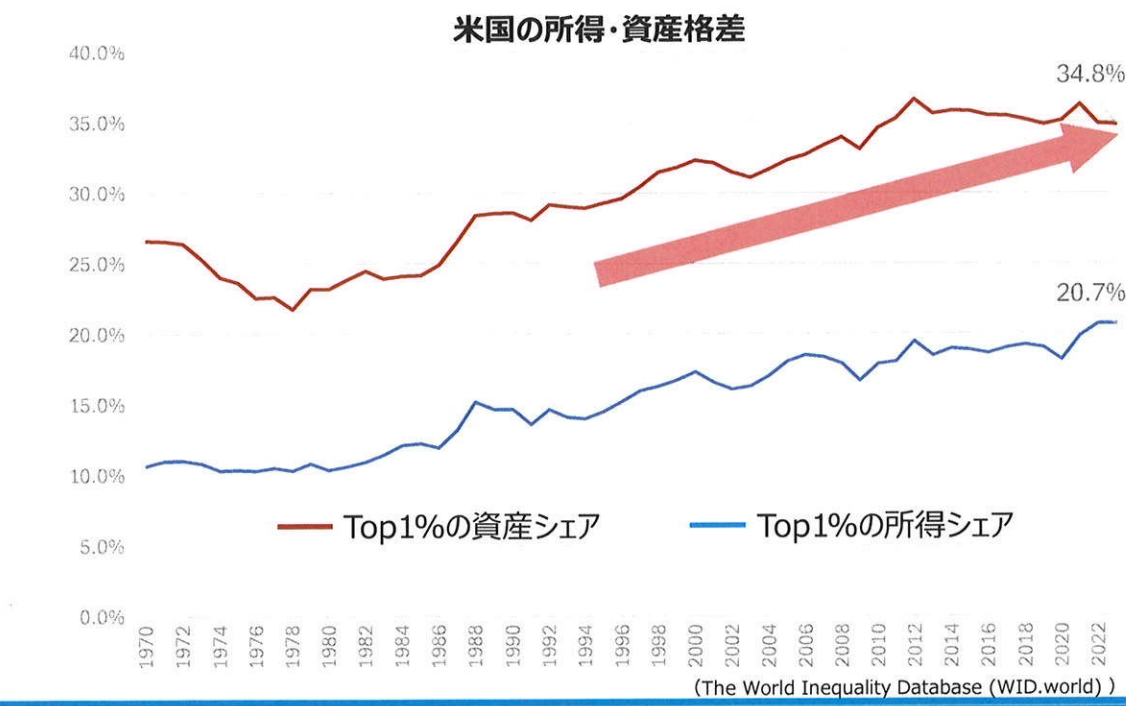
4

## 大気中のCO<sub>2</sub>濃度

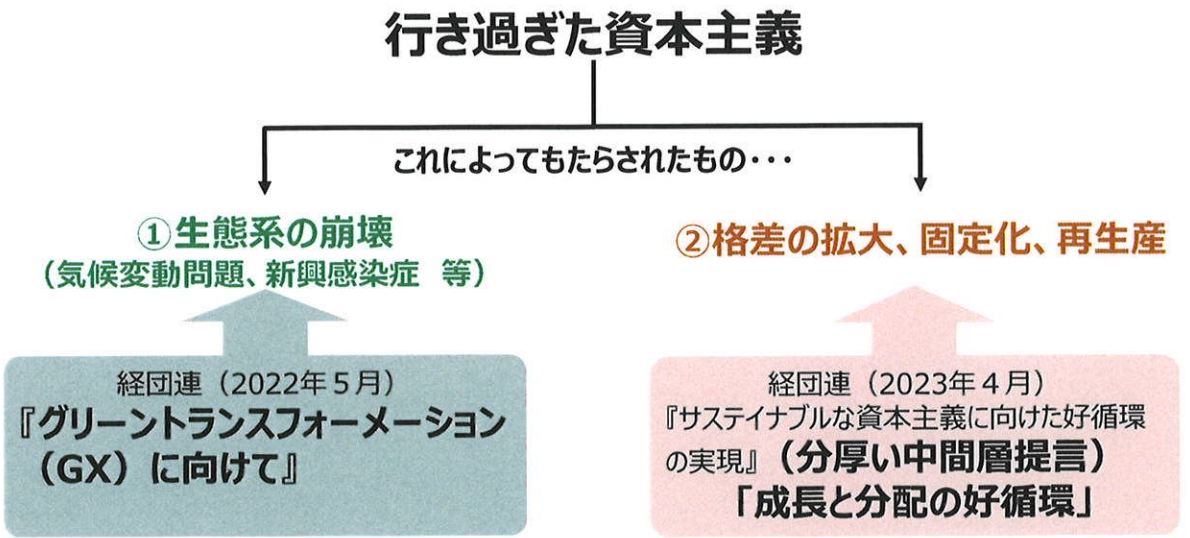


5

# 米国における格差の拡大



## 社会性の視座 ～from the social point of view～ (配布資料)



## 社会性の視座 ～from the social point of view～

# 本日のアジェンダ

## 1. 社会性の視座

## 2. FUTURE DESIGN 2040

## 3. 混迷の時代

8

### FUTURE DESIGN 2040①

- わが国は①少子高齢化・人口減少と②資源を持たない島国という2つの克服すべき課題に直面
- この2つの課題を前提とした、わが国の経済社会の姿、いわば、わが国が避けては通れないパスウェイは、「科学技術立国」と「貿易・投資立国」。そして、その基盤となるのが「公正・公平」で「持続可能」な社会。その実現には「成長と分配の好循環」が欠かせない
- 「成長と分配の好循環」の実現に必要な6つの施策を提案
  1. 全世代型社会保障、2. 環境・エネルギー、3. 地域経済社会、
  4. イノベーションを通じた新たな価値創造、5. 教育・研究、労働、
  6. 経済外交、そして、これらの基盤となるマクロ経済運営



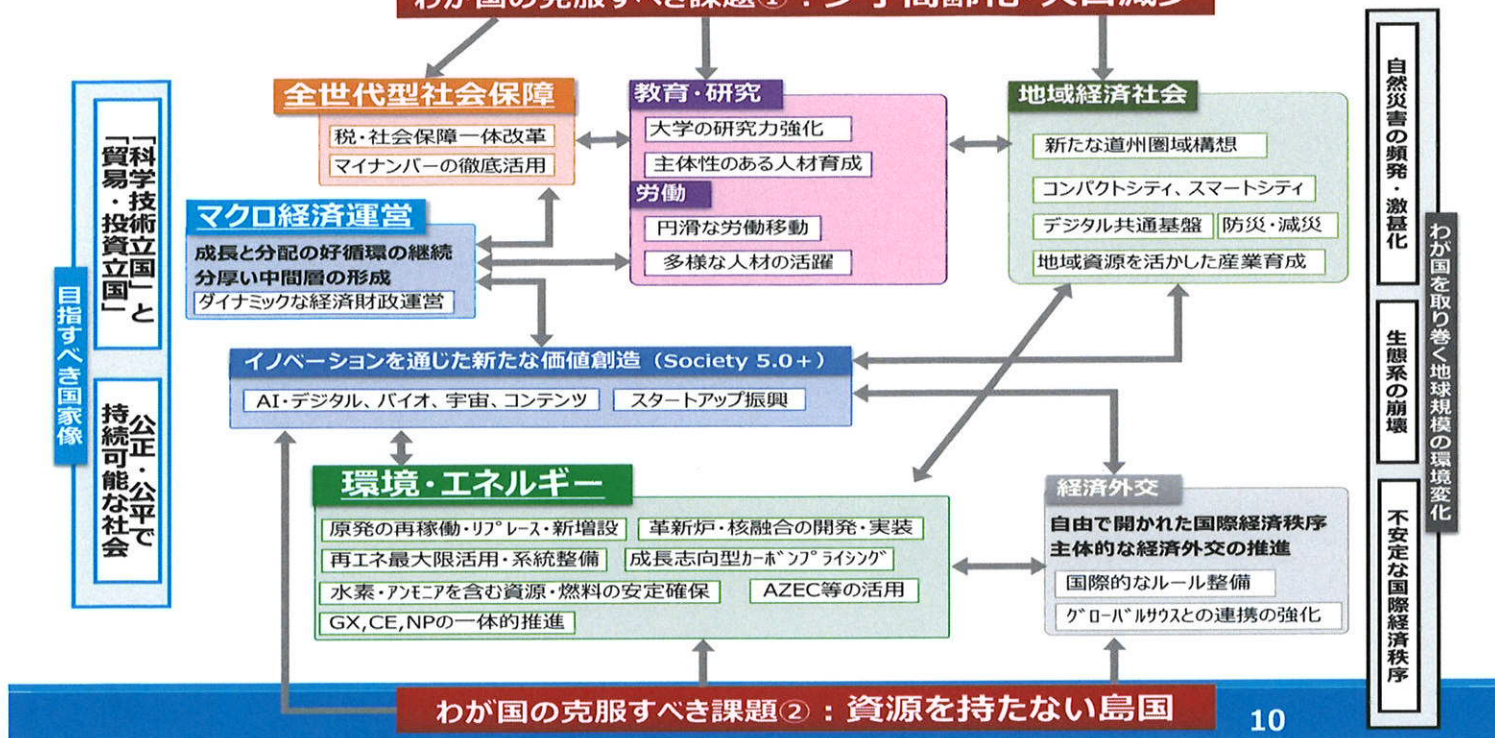
経団連HP



9

## FUTURE DESIGN 2040②

わが国の克服すべき課題①：少子高齢化・人口減少



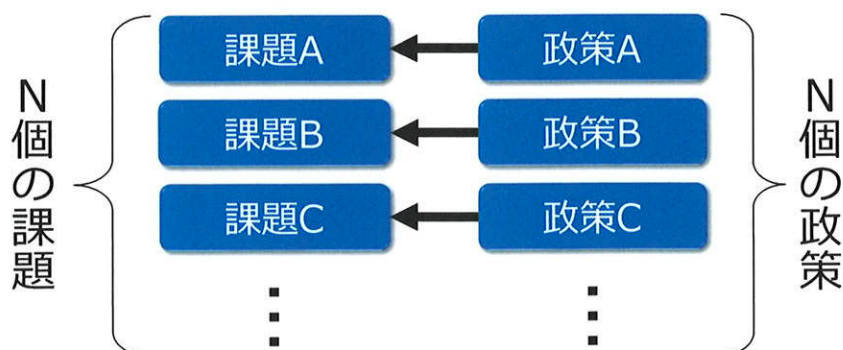
## FUTURE DESIGN 2040③

“Poly Crisis”（複合危機）⇒ “Nested Crisis”（入れ子構造の危機）

by Markus Gabriel

ポリシーミックス

【マンデル＝ティンバーゲンの定理】



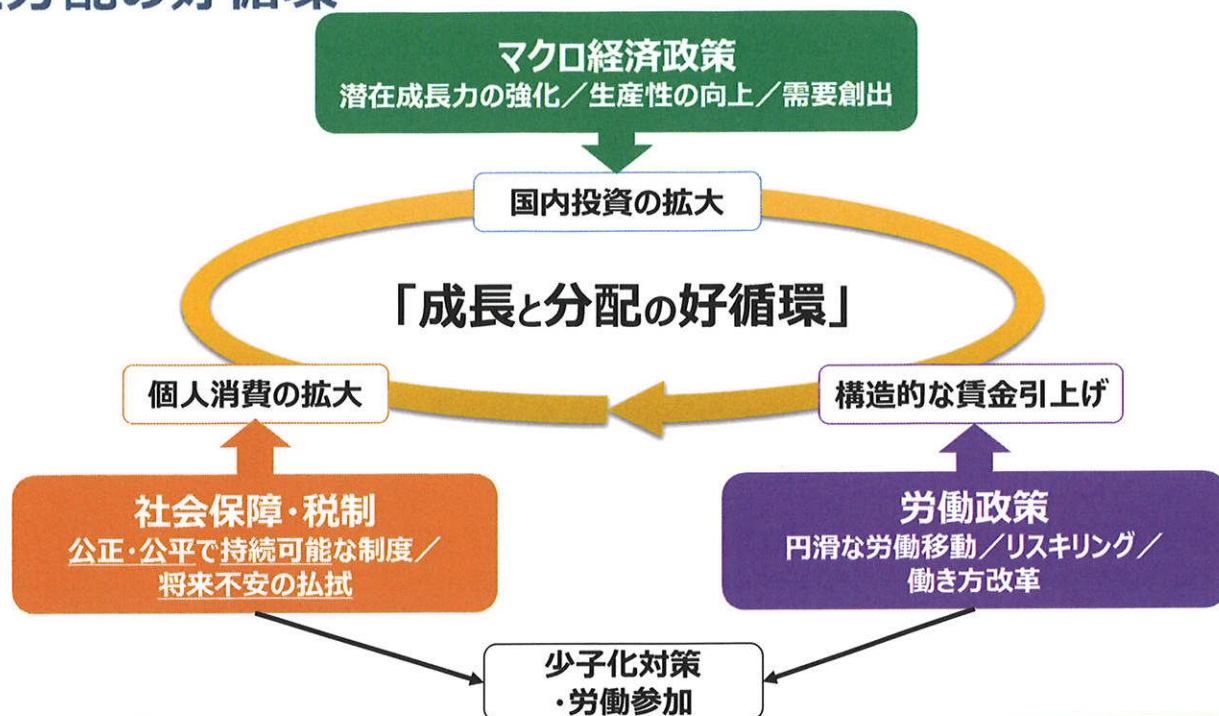
【ティンバーゲンの定理】

N個の独立した政策目標を同時に達成するためには、N個以上の独立した政策手段が必要

【マンデルの定理】

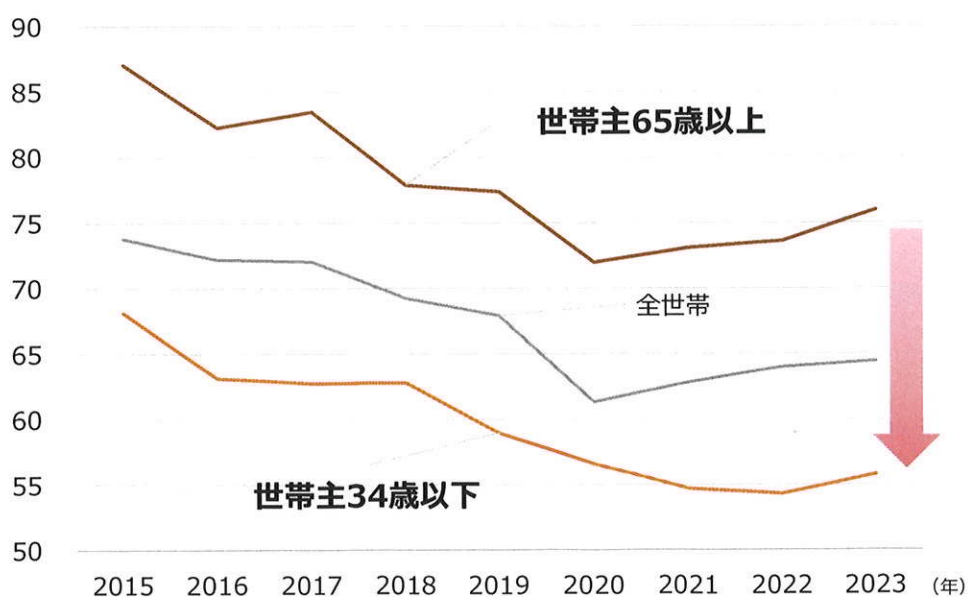
政策手段は、それが最も効果を発揮する政策課題に割り当てられるべき

## 成長と分配の好循環



12

## 世帯主年齢別の消費性向の推移（2人以上勤労者世帯）

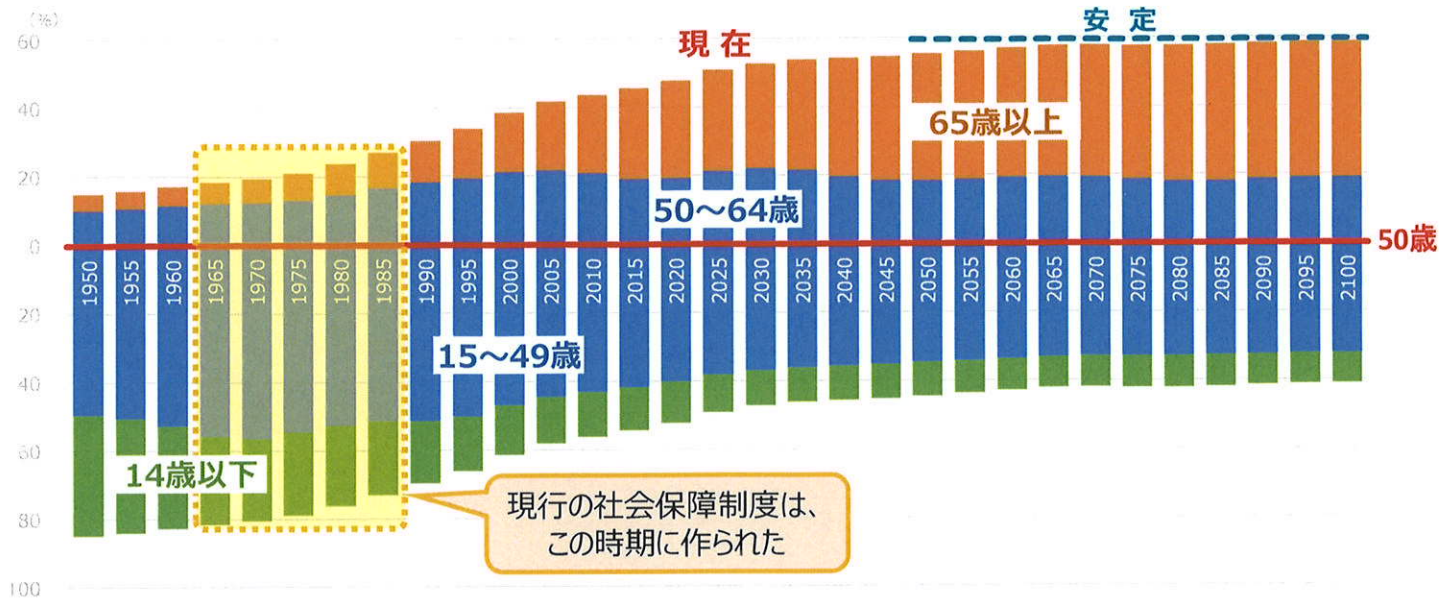


注：消費性向は、消費支出÷可処分所得で計算  
出所：総務省「家計調査 家計収支編 二人以上の世帯」より作成

13

# 日本の人口構成の将来推計

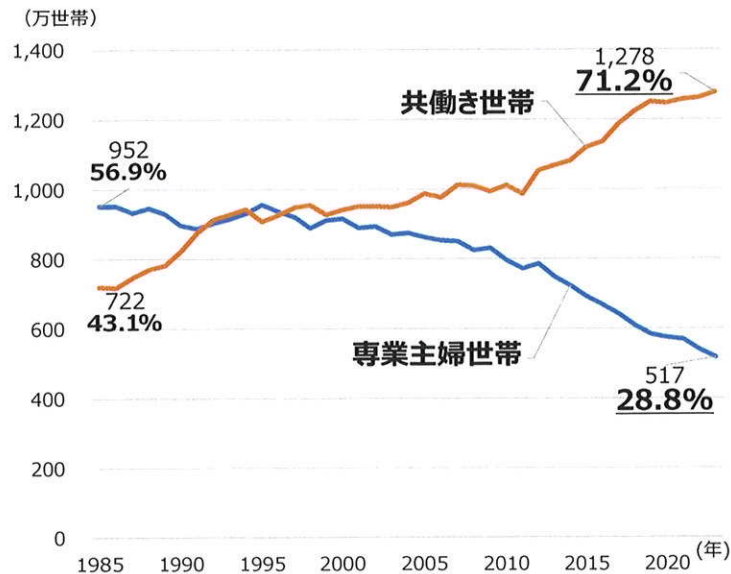
50歳を基準とした日本の人口構成の将来推計



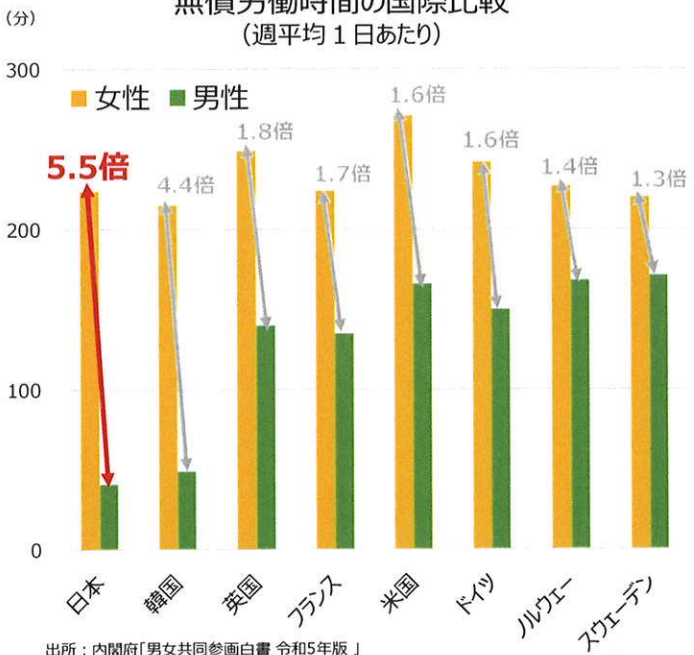
出所：経済産業省「健康経営の推進」（2022年6月）、総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」より作成

# 専業主婦世帯の減少と男性の家事・育児の課題

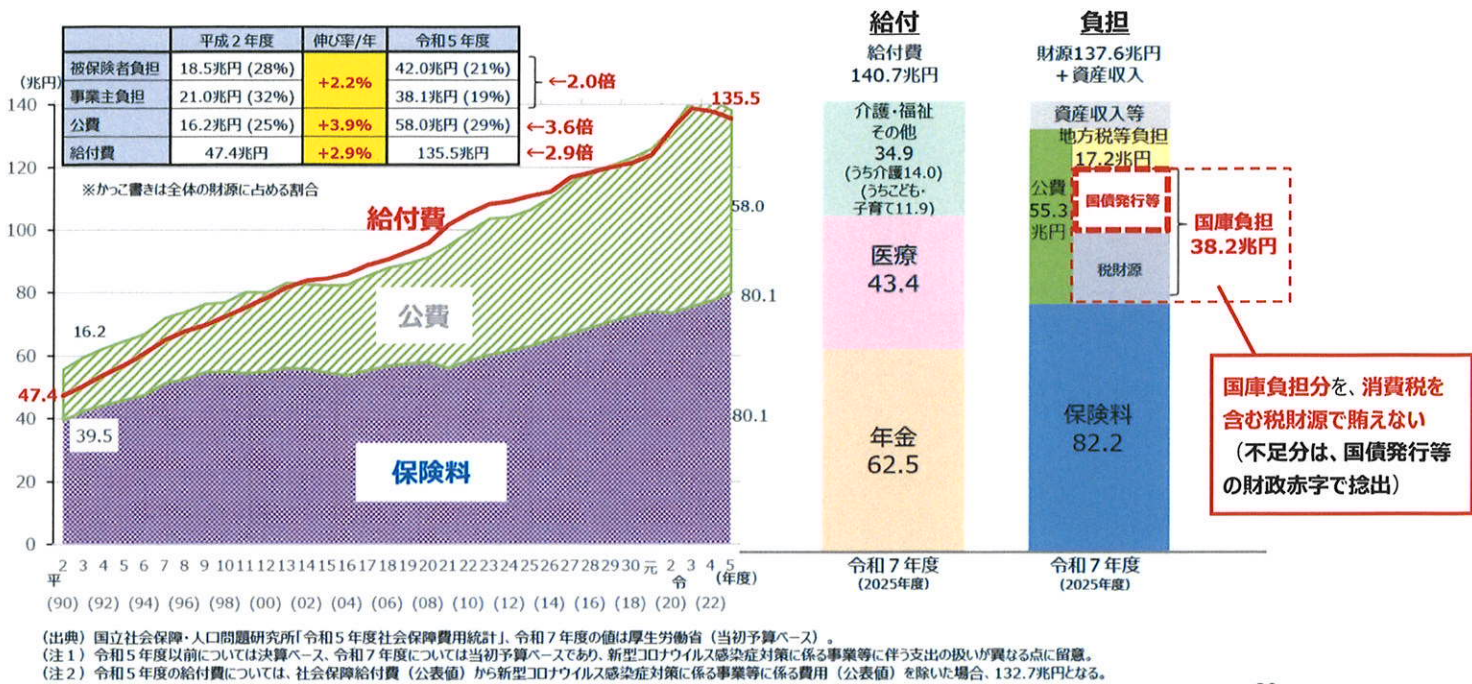
専業主婦世帯と共働き世帯の推移



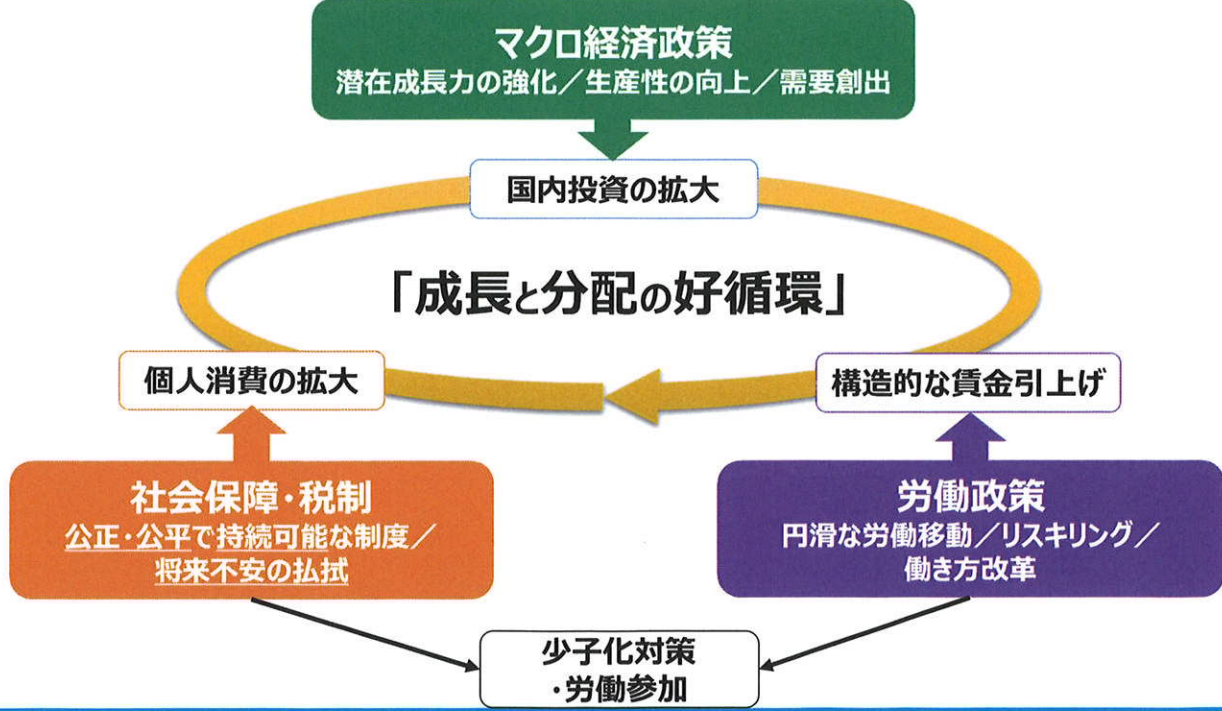
無償労働時間の国際比較  
(週平均1日あたり)



社会保障給付費と財政赤字



成長と分配の好循環 (再掲)



# GX提言 と 政府の対応

## 【 経団連GX提言 】

技術の社会実装、政策のロードマップの  
明示と司令塔の確立

エネルギー供給構造の転換

グリーンディール

原子力利用の積極推進

電化の推進・革新的技術開発

カーボンプライシング

攻めの経済外交戦略

産業構造の変化への対応

サステナブルファイナンス

## 【 政府の対応 】

政府「GX実行会議」の設置 (2022年7月)  
※ 総理が議長を務める

「GX実現に向けた基本方針」の閣議決定  
(2022年12月GX実行会議取りまとめ、2023年2月閣議決定)

「GX推進法」・「GX脱炭素電源法」の国会成立 (2023年5月)

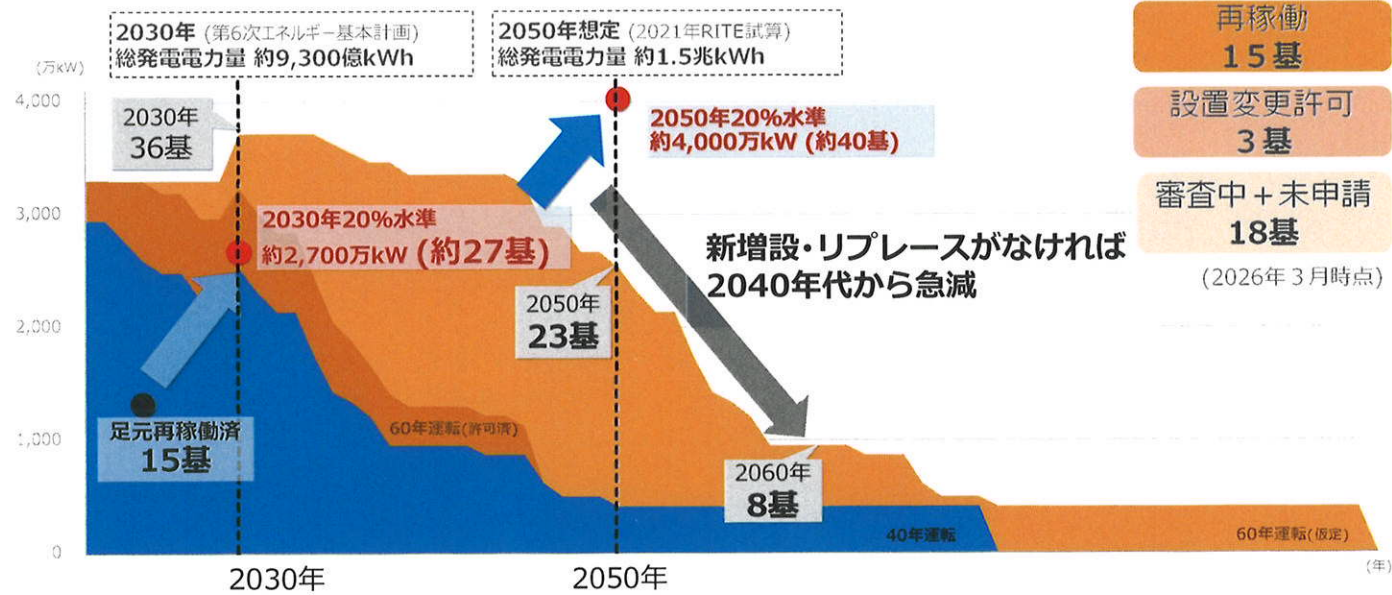
「GX推進戦略」の閣議決定 (2023年7月)  
※ 「GX推進法」に基づき「GX実現に向けた基本方針」を改定したもの。

GX2040ビジョン、第7次エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画  
の閣議決定(2025年2月)

改正「GX推進法」の国会成立 (2025年5月)

# 原子力発電所の設備容量

<再稼働に向けた審査状況>



(出典) 日本原子力産業協会、資源エネルギー庁資料より経団連事務局作成

## バックエンドの課題への取り組み

使用済み核燃料を各原子力発電所で貯蔵  
貯蔵容量の約8割を使用  
⇒ プルトニウムバランスの確保

使用済み  
核燃料

北海道寿都町、神恵内村、佐賀玄海町、  
東京都小笠原村で文献調査

最終処分の実現

高レベル放射性廃棄物



坑道内視察

原子力発電所

核燃料サイクル

六ヶ所村 再処理施設

再処理施設（2026年度）  
MOX工場（2027年度）

- MOX燃料を軽水炉で使用（プルサーマル）  
有害度低減10万年→8000年  
減容化1/4
- 将来的には高速炉  
有害度低減 10万年→300年  
減容化1/7

MOX燃料

※2022年9月  
むつ小川原開発地区（青森県六ヶ所村）  
使用済み核燃料の再処理関連  
施設を視察

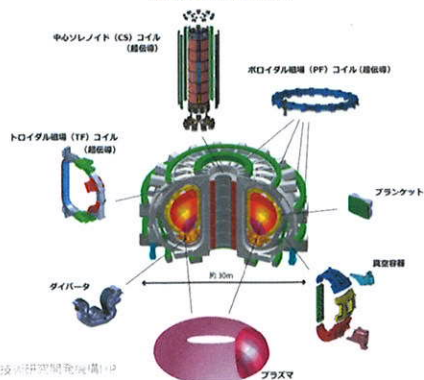


戸田六ヶ所村長と

20

## 核融合炉の開発

ITER



トロイダル磁場コイル

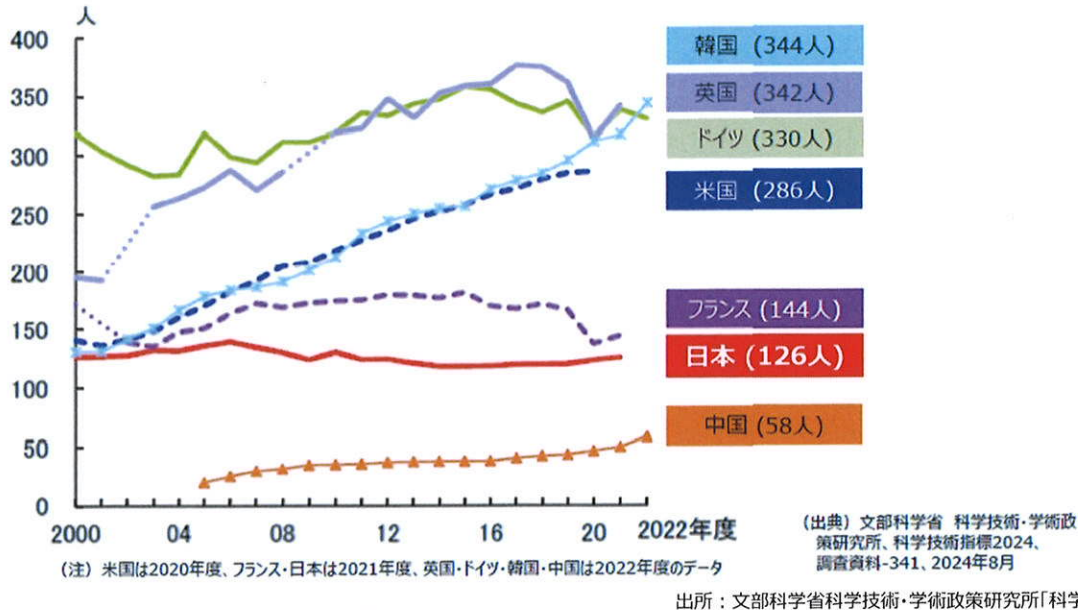


中心ソレノイドコイル

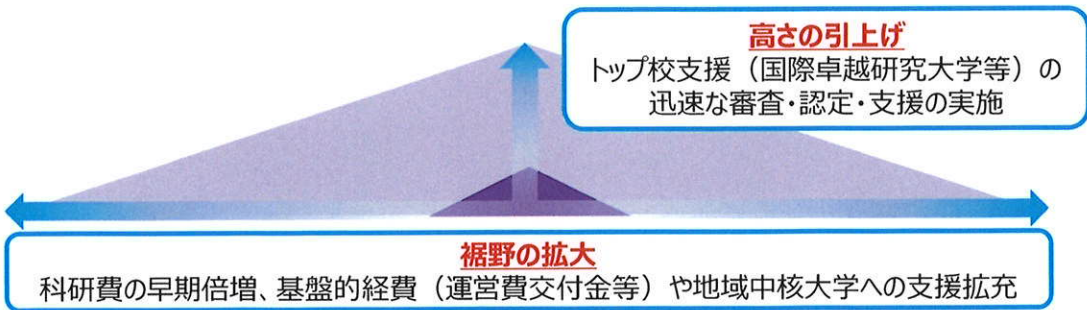


研究力の強化①

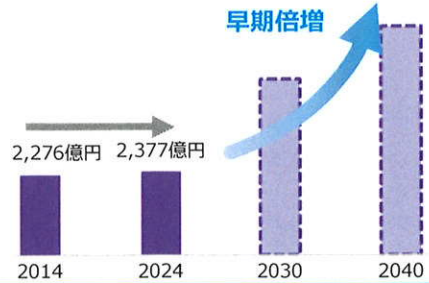
人口100万人当たりの博士号取得者数の国際比較



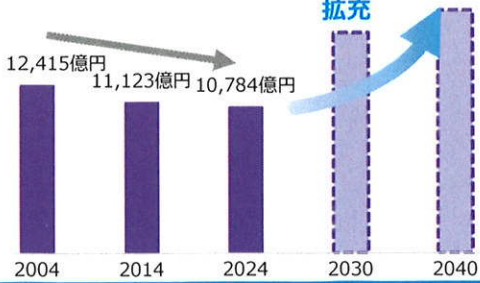
研究力の強化②



科研費（科学研究費助成事業）拡充のイメージ



国立大学法人運営費交付金 拡充のイメージ



# 本日のアジェンダ

1. 社会性の視座

2. FUTURE DESIGN 2040

3. 混迷の時代

24

## 国際社会の厳しい現実①（リアル・ポリティーク）

トランプ政権 National Security Strategy (2025/12)

Peace through strength（力による平和）を明示

“Strength is the best deterrent”（力は最大の抑止力）

Western Hemisphere（西半球）に対する考え

“The Trump Corollary to the Monroe Doctrine（**Donroe Doctrine**）”

⇒ 西半球は、米国の「庭」／西洋（西側諸国）の軽視

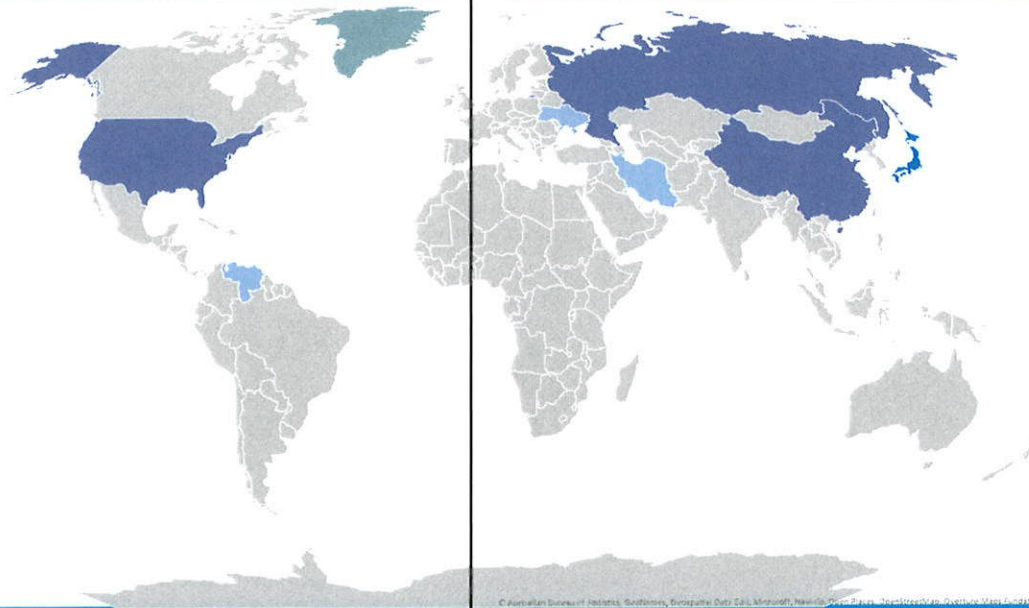
| 国際社会の理想   |   | 国際社会の現実     |
|-----------|---|-------------|
| 法の支配      | → | 力による支配      |
| 国際協調・自由貿易 | → | 自国第一主義・保護貿易 |

25

## 国際社会の厳しい現実②（日本の置かれた立場）

西半球

東半球



26

## 日本は安全保障上の「構造的赤字国」

### 安全保障上の「構造的赤字国」

経済安全保障上の赤字  
(エネルギー／鉱物資源／食糧)

国家安全保障上の赤字  
(有事法制／日米安保)

＋ こうした状況に加えて…

地政学リスク（権威主義国に囲まれている）

地震など自然災害（四つのプレートの衝突部に立地）

＋ しかも…

「ルールに基づく自由で開かれた国際秩序（LIO）」が崩壊

※ LIO : Liberal International Order

27

# LIOの再構築 “Pax Consortis”

## ルールに基づく自由で開かれた国際秩序（LIO）の再構築

- ・ルールに基づく自由で開かれた国際秩序は、戦後日本の発展の礎
- ・同志国との連携の枠組み（例：CPTPP）の拡大が必要

### “Pax Consortis”

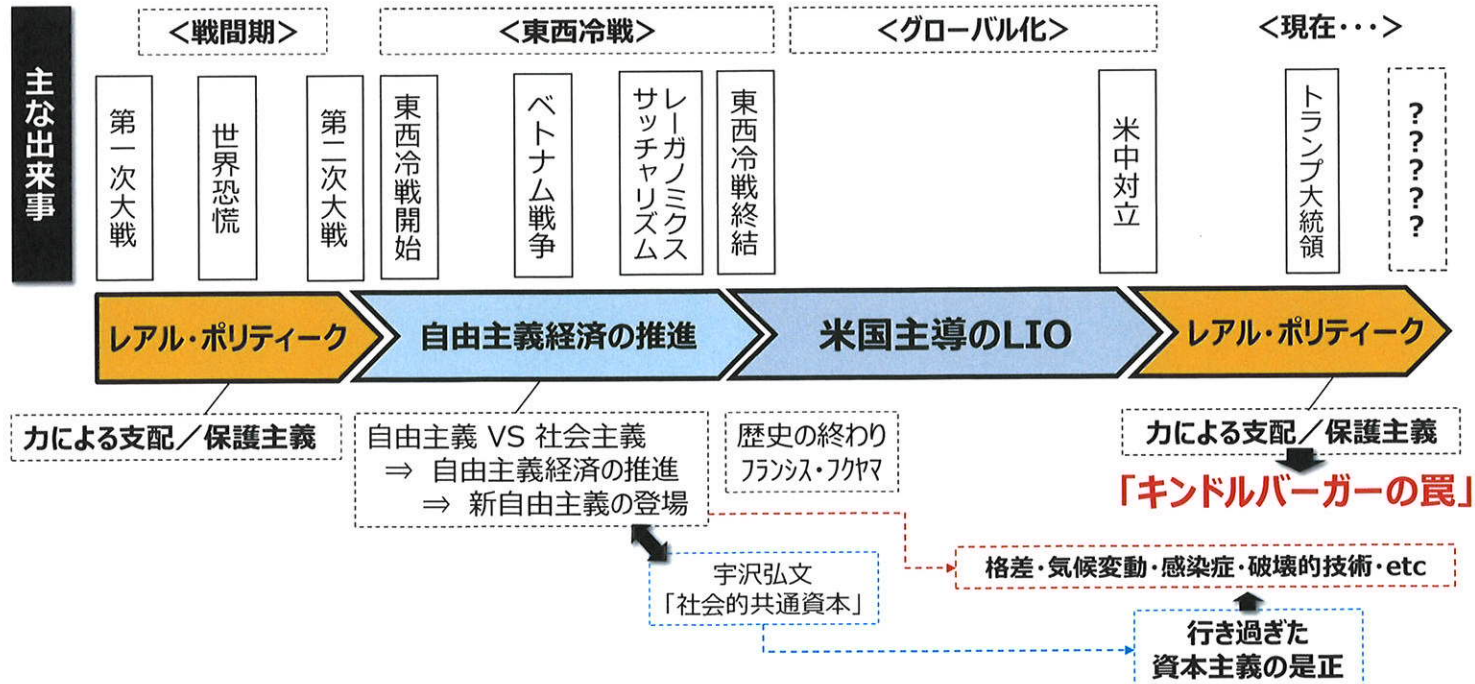
(主要国が中心となった国際協調)

“Liberalism & Realism”

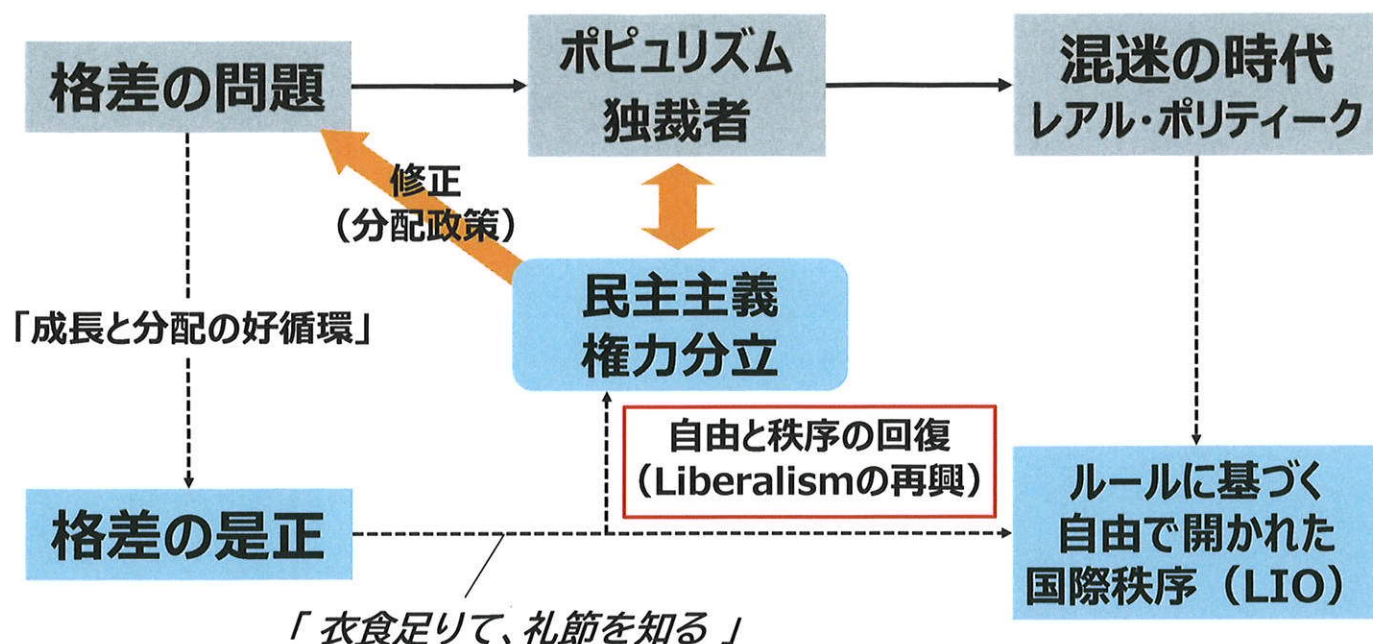
独 メルツ首相 “principled realism”

加 カーニー首相 “Principled and pragmatic”

## 国際情勢の変遷（『歴史は、しばしば韻を踏む』）



## Liberalismの再興（民主主義を通じた自己修正）



30

# 「正論」を言う

31